

授業科目名/Subject
人間と社会

学科区分/Department	学年/Year	形態/Term	単位/Credits	クラス/担当者 Class/Instructor
国際関係学科 国際文化学科 国際交流学科 国際ビジネス情報学科	1	半期	2	服部 慶巨

授業概要 / Outline

授業のテーマ/Overall Theme for Course
社会的動物としての人間

授業のねらい/Goal
人間は、独りで生きてゆくことの出来ない弱い存在である。故に、共同生活を営む者(仲間)が必要不可欠となる。また、人間が独りで幸福を得ることも難しい。この講義では、如何にして人間が社会とかわり、幸福な存在となるべきかを、身近な社会問題を取り上げつつ考察する。

授業の方法/Content
日々深刻化している「社会問題」の根源を理解するために、「人間とは何か?」「社会とは何か?」という課題を社会学理論に基づいて解説する。教科書やプリントを用い、理解の助けとする。

授業計画 / Teaching Plan

- 第1回 シラバス授業(人間と社会I・II共通ガイダンス) 講義の方針、展開方法、基礎概念、目標などの確認
- 第2回 状況(情況)判断
- 第3回 社会(学)とは何か?(1)
- 第4回 社会(学)とは何か?(2)
- 第5回 「社会的動物」としての人間(1)
- 第6回 「社会的動物」としての人間(2)
- 第7回 人間関係の諸相と構造(1) 総論
- 第8回 人間関係の諸相と構造(2) 地位
- 第9回 人間関係の諸相と構造(3) 役割
- 第10回 人間関係の諸相と構造(4) 医療社会篇
- 第11回 基本的人間関係の再考(1) 恋愛と友情
- 第12回 基本的人間関係の再考(2) 恋愛の必要性
- 第13回 基本的人間関係の再考(3) 恋愛の進行と対人魅力
- 第14回 基本的人間関係の再考(4) 恋愛に伴う欲求と効果
- 第15回 まとめ

教材 / Teaching Materials

教科書/Textbooks

著者名/Authors	服部 慶巨
書名/Title of books	補強版ストレス・スパイラル 悩める時代の社会学
出版社/Publishers	人間の科学社
ISBN	ISBN4822602389
備考/Notes	

必携参考書/Required reference books

プリント配布 / Handouts

推薦参考書/Recommended reference books

なし / Nothing

■ 履修条件 / Prerequisites

続けて後期の「人間と社会II」を履修するか、あるいは履修歴のあることが望ましい。また、旧カリキュラム科目なので、新カリキュラム適用の1～2年生は履修できない(新カリキュラムの「社会学」を履修すること)。

■ 成績評価 / Evaluation

終講試験と平常点による。

■ その他 / Others

履修学生の興味・関心事が講義内容に反映されるので、講義には積極的に「参加」してほしい。講義連絡などにWebCT(<http://webct.ir.nihon-u.ac.jp:8900/>)を使用する。

■ 連絡先 / Contact Information

服部 慶巨 /

授業科目名/Subject
人間と社会

学科区分/Department	学年/Year	形態/Term	単位/Credits	クラス/担当者 Class/Instructor
国際関係学科 国際文化学科 国際交流学科 国際ビジネス情報学科	1	半期	2	服部 慶巨

授業概要 / Outline

授業のテーマ/Overall Theme for Course
問題行動の社会学

授業のねらい/Goal
近年、すぐに「キレル」「ムカつく」若者が増加している。また、「新成人」に代表される「大人になれば、何をしても許される」という勘違いも横行し、社会問題もかつてないほど増大している。この講義では、人間の本性・誤認識への対処法を考えつつ、現代社会を生き抜く知識・技術を模索する。

授業の方法/Content
受講学生自身も陥りがちな問題行動を通して、現代的な人間関係や社会構造について、社会学理論に基づいて解説する。教科書やプリントを用い(時には映像なども用い)、理解の助けとする。

授業計画 / Teaching Plan

- 第1回 問題行動の根源(1) Commnis問題(講義の方針、展開方法、基礎概念、目標などの確認を含む)
- 第2回 問題行動の根源(2) 行為と行動
- 第3回 問題行動の根源(3) 共感性の欠如
- 第4回 問題行動の根源(4) アノミーと犯罪
- 第5回 社会意識と逸脱(1) 常識
- 第6回 社会意識と逸脱(2) 逸脱
- 第7回 ストレスの誤対処(1) ストレスの構造
- 第8回 ストレスの誤対処(2) 非日常性
- 第9回 ストレスの誤対処(3) 価値判断と防衛機制
- 第10回 ストレスの誤対処(4) 「癒し」ブームの危険性
- 第11回 ストレスの誤対処(5) ヴァーチャル・リアリティ
- 第12回 誤認識と問題行動(1) 少年犯罪の凶悪化・陰湿化現象
- 第13回 誤認識と問題行動(2) 生と死に関する意識(a)
- 第14回 誤認識と問題行動(3) 生と死に関する意識(b)
- 第15回 まとめ

教材 / Teaching Materials

教科書/Textbooks

著者名/Authors	服部 慶巨
書名/Title of books	補強版ストレス・スパイラル 悩める時代の社会学
出版社/Publishers	人間の科学社
ISBN	ISBN4822602389
備考/Notes	

必携参考書/Required reference books

プリント配布 / Handouts

推薦参考書/Recommended reference books

なし / Nothing

■ 履修条件 / Prerequisites

「人間と社会I」を履修していることが望ましい。また、旧カリキュラム科目なので、新カリキュラム適用の1～2年生は履修できない(新カリキュラムの「社会学」を履修すること)。

■ 成績評価 / Evaluation

終講試験と平常点による。

■ その他 / Others

履修学生の興味・関心事が講義内容に反映されるので、講義には積極的に「参加」してほしい。講義連絡などにWebCT(<http://webct.ir.nihon-u.ac.jp:8900/>)を使用する。

■ 連絡先 / Contact Information

服部 慶亘 /